

2024 年度日本海洋学会秋季評議員会議事録

日時: 2024 年 9 月 17 日 (火) 17:15~18:15

場所: 東京海洋大学品川キャンパス 講義棟 1 階大講義室

出席者: 江淵会長、原田副会長、神田監事、相木、青木、安藤、石坂、市川、伊藤(幸)、上野、植松、大島、岡(顕)、岡(英)、乙坂、小埜、瀨藤、小松、根田、須賀、杉本、宗林、高橋、張、中村、西岡、野口、林、日比谷、広瀬、升本、道田、安田(一)、安中、吉川 各評議員(35 名)

大林理事、久保川編集委員長、土井理事、中野(英)理事、長谷川理事、中野(俊)支部長、田所研究会会長代理、田中研究会会長代理、福田研究会会長、毎日学術フォーラム(米岡)

委任状: 伊藤(進)、岩本、植原、梅澤、小畑、川合(義)、近藤、齊藤、鈴木、角皆、羽角、安田(珠)、各評議員(12 名)

1. 開会 (中野理事)

開会に先立ち、中野集會担当理事より、出席者 35 名、委任状 12 通で、評議員会細則第 3 条の規定による評議員会の成立要件を満たしている旨報告があった。神田監事及び乙坂評議員により署名が行われる旨が承認された。

2. 会長挨拶 (江淵会長)

評議員会開催に先立ち、江淵会長より挨拶があった。秋季大会運営および法人化移行への協力に対する謝意が示された。石井会員が第 17 回海洋立国推進功労者表彰を受賞した件が報告され、祝意が示された。

大会実行委員長挨拶 (西田大会実行委員長)

秋季大会の大会実行委員長である西田会員より挨拶があった。2013 年以來の水産研究・教育機構 水産資源研究所 海洋環境部による学会開催であった。9 月 17 日時点での登録参加者は 506 名、発表件数は 237 件、シンポジウム 10 件の参加者と発表があったことが述べられた。

3. 審議事項

1) 環境科学賞細則の変更について (江淵会長)

宇野木環境科学賞への名称変更と合わせて環境科学賞細則の変更案について提案され、承認された。

2) 海洋環境問題研究会の会則変更について (福田研究会会長)

海洋環境問題研究会の会則変更案について提案され、承認された。

3) 海洋生物学会の会長交代・会則変更について (田所研究会会長代理)

海洋生物学会の会長交代案・会則変更案について提案され、承認された。

4) 教育問題研究会の会則変更について（須賀研究会会長代理）

教育問題研究会の会則変更案について提案され、承認された。

5) 沿岸海洋研究会の会則変更について（田中研究会会長代理）

沿岸海洋研究会の会則変更案について提案され、承認された。

6) その他

名称変更に合わせて環境科学賞のメダルについての問い合わせがあり、現有のメダル(一つ)の作り直しはしないとの回答があった。

4. 報告事項

1) 会務報告

庶務（岡(顕)理事）

2024年4月から7月の会員の異動状況、2024年4月から9月のシンポジウム等の開催・共催等について報告された。

編集

① JO（岡編集委員長代理）

JO Vol.79(1)から80(4)までの発行状況について報告された。2016年度から2024年9月までの投稿・受理状況について報告された。Journal Metricsの低下が報告され、これに関する改善案等の議論があった。

② 海の研究（久保川編集委員長）

2024年度の投稿状況と今後の予定について報告された。

③ JOS ニュースレター（杉本編集委員長代理）

2024年度の発行予定について報告された。

研究発表（土井幹事）

2024年度の秋季大会は完全対面形式にて開催されていることが報告され、開催セッション・シンポジウム等について報告された。

2025年度の春季大会はJpGU2024の中でハイブリッド形式にて開催されることが報告された。2025年度の秋季大会は函館の北海道大学水産学部にて実施されることが報告された。

賞選考

学会賞・岡田賞・宇田賞（大島員長）

選考状況について報告された。

日高論文賞 奨励論文賞（大林委員長代理）

選考状況について報告された。

環境科学賞（安中委員長）

選考状況について報告された。

吉田賞（植松委員長）

選考状況について報告された。

選挙管理（中野(英)理事）

本年度のウェブ選挙のスケジュールや方針について報告された。

広報委員会（長谷川委員長代理）

2024年度の活動予定について報告された。前期としてパンフレットの更新をしたこと、及びJpGUにおいて、求人支援等を行ったことが報告された。

海洋環境委員会（野口委員長）

2024年度「日本海洋学会青い海助成事業」一般提案型の採択課題が計画通り2024年5月に終了したこと、及び緊急提案型の公募を行っていることが報告された。

海洋観測ガイドライン編集委員会（長谷川委員長）

2022年度は英文第5版に向けた調整、和文版の改訂事項や追加事項の検討、学会での展示棟によるプロモーション活動を継続して実施していることが報告された。

西南支部（中野(俊)支部長）

九州沖縄合同シンポジウムの開催を予定していることが報告された。

海洋環境問題研究会（福田研究会会長）

2024年度日本海洋学会秋季大会期間中のシンポジウム開催について報告された。

沿岸海洋研究会（田中研究会会長代理）

2024年度日本海洋学会秋季大会期間中のシンポジウム開催について報告された。

教育問題研究会（須賀研究会会長代理）

2024年度前期は、海のサイエンスカフェ、秋季大会中のセッション及びシンポジウムの実施、大学施設を利用した海洋教育の実践、女子中高生夏の学校2024への参加、「海の出前授業」講師派遣を実施したことが報告された。その他、委員会等に出席したことが報告された。また、2024年度後期の活動計画について報告された。

リクルート戦略WG（伊藤理事）

海洋系の大学進学窓口回答の協力者を募集し、10名の応募を得たことが報告された。

IAPSO（升本理事）

メダルの応募について報告された。

IAMAS-IACS-IAPSO Joint Assembly 2025の釜山開催予定について報告された。

2) 学会関連報告

学界動向（原田副会長）

学界関連の動向について報告された。詳細はJOSニュースレターに掲載される。

水産・海洋科学研究連絡協議会（江淵会長）

6月16日に協議会が行われ、ロードマップ2023への支援を依頼したことが報告された。

以上